

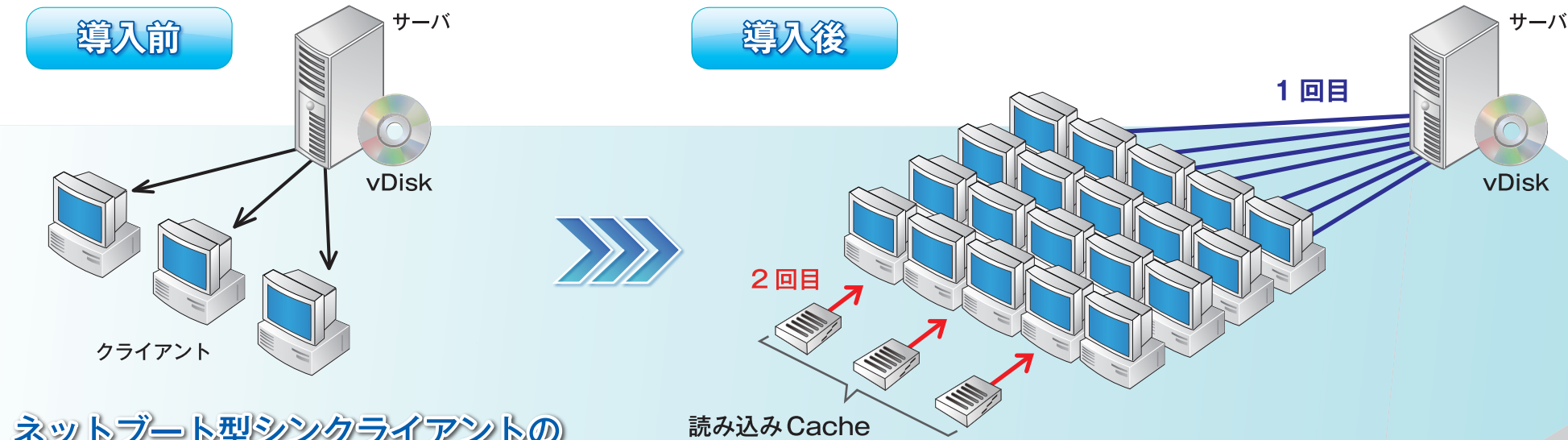
# ReadCacheシステム2.0 for Citrix Provisioning Server 4.5

ネットブートの利点をそのままに従来端末と同様の動作速度とクライアントの集約率の向上を実現

Windowsシステムの管理コストの削減のために、Citrix社の製品を利用したネットブートによるシステム構築が選択されることが増えています。

しかし、Citrix Provisioning Server (旧Ardence)システムはサーバへの負荷集中を招きやすいため、一台のサーバに対してある一定以上のクライアントを集約させることは困難と考えられていました。

このたび当社にて新たに開発した「ReadCache システム」を利用することで、ネットブートの利点をそのままに従来端末と同様の動作速度と クライアントの集約率の向上を実現します。



## ネットブート型シンクライアントの 利点はそのまま

- ・ハードディスクがなくても動作する
- ・ハードディスクの情報が集約されているため、端末数が増えても管理が楽
- ・共通のディスクイメージを使うのでアップデートが楽

## 欠点をカバー!!

### これまで

- ・毎回サーバに問い合わせるため、少し遅い
- ・多数の端末が同時にサーバを使用すると非常に遅い
- ・CAD やコンパイラ、マルチメディア素材などを利用すると非常に遅い

### これから

- ・同じ情報を2度読むことがないので高速
- ・端末の数によらず、サーバに負荷が集中しにくい
- ・ハードディスク上にスワップファイルを持つため高速なので CAD やコンパイラ、マルチメディア素材などでも利用できる

## 導入効果

### 1 速度改善

OS やアプリケーション (CAD、コンパイラ等) には ReadCache が効果的に効きます。読み取りはクライアントの台数によらずローカルディスク同等の速度になります。

### 2 サーバの負荷軽減

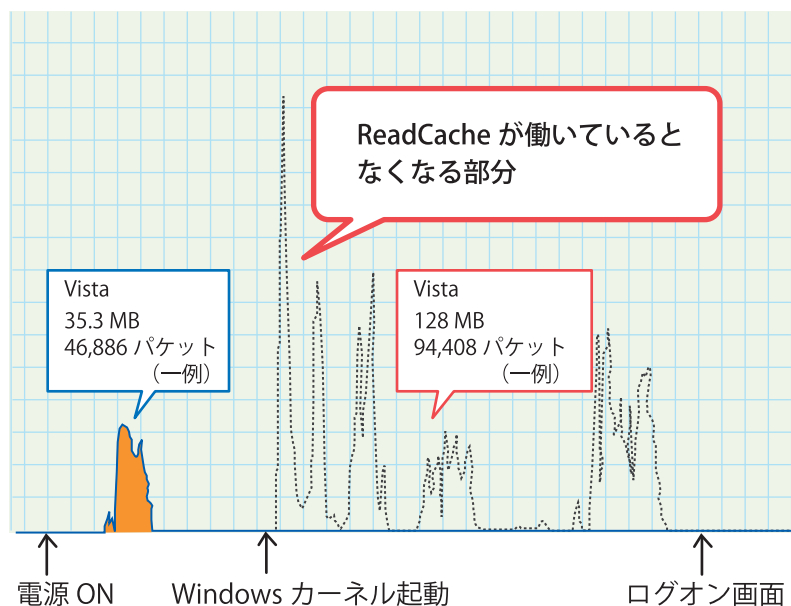
2 回目以降の起動処理で、Provisioning Server へのアクセスがほぼ発生しません。Provisioning Server への負荷を大幅に軽減することで、集約率の向上や台数削減が見込めます。

### 3 ディスクがあっても安心

キャッシュデータは暗号化されています。ディスクの故障時には ReadCache 機能 Off で起動します。

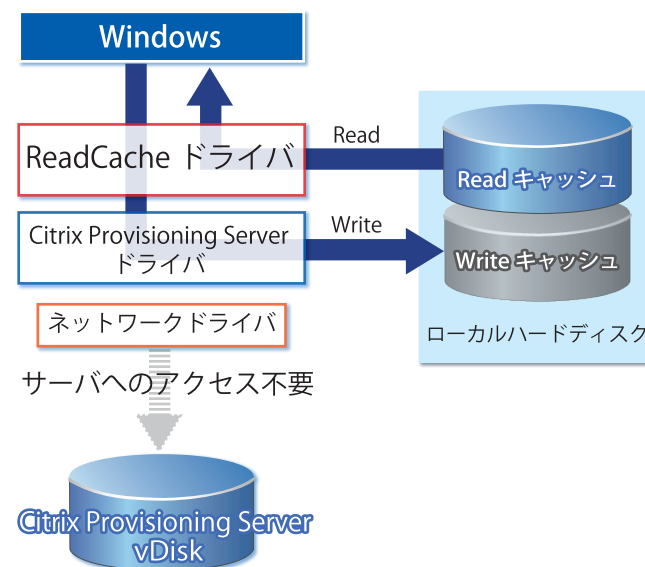
## トラフィックはどのくらい減るのか?

- ・ ReadCache2.0 導入後、トラフィックが大幅に削減されます。



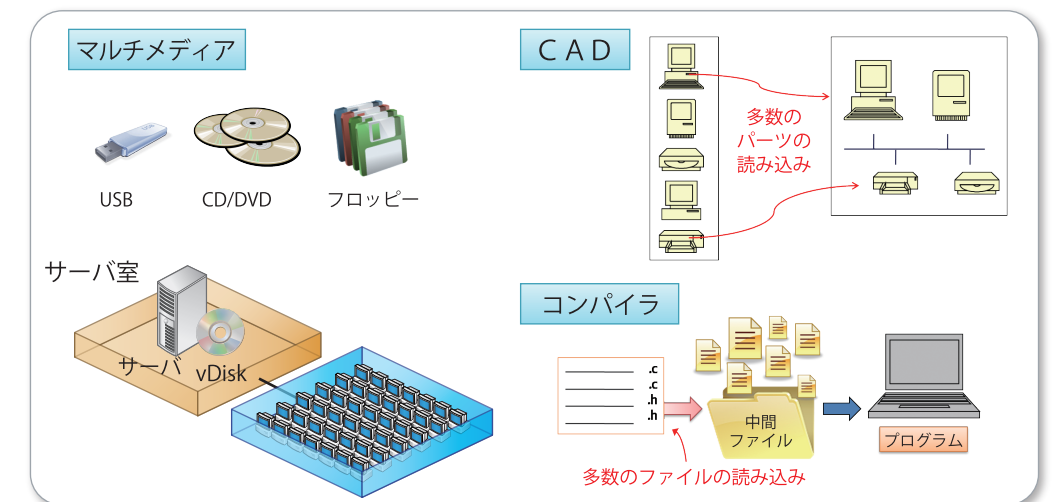
## ディスクへの読み込み、書き込み

- ・読み込み、書き込みをハードディスク内で行うためサーバへのアクセスがなくなります。



## 様々な業務分野での利用

- ・新たな業務分野への提案が可能になります。



- ー Provisioning Server に対して負荷が集中する分野
- ー 多くのメモリーを必要とするアプリケーション
- ー テンポラリファイルを多数必要とする分野